

2026年7月2日
株式会社電通デジタル

電通デジタル、ブログウォッチャーと共同で 位置情報データを活用した来店効果分析ソリューション 「OmniVisit™」を提供開始 - 媒体やデバイスを横断し、デジタル広告の統合的な来店効果を可視化 -

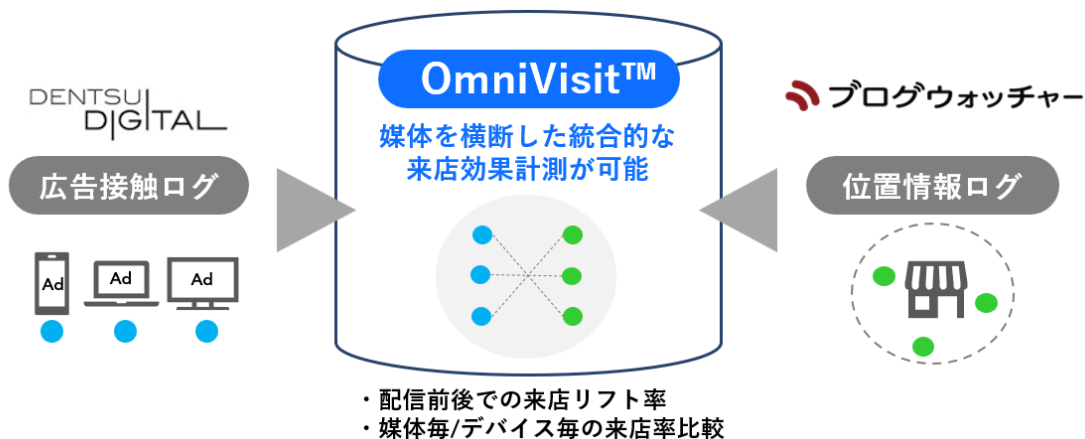
株式会社電通デジタル（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：瀧本 恒 以下、電通デジタル）は、株式会社ブログウォッチャー（本社：東京都千代田区 代表取締役：新村 生 以下、ブログウォッチャー）と共同で、デジタル広告の接触が実店舗への来店にどれだけ寄与したかを、複数の媒体を横断して計測・分析できるソリューション「OmniVisit（オムニビジット）」を開発し、本日より提供を開始します。

近年、デジタル広告が実店舗の売上に与える影響（オフラインコンバージョン）を可視化するニーズは急速に高まっています。しかし、従来の計測手法では各媒体の提供データがプラットフォーム内に閉じているため、媒体を横断した広告の接触状況や、広告費用対効果（ROAS）の比較が困難でした。加えて、コネクテッドTV（CTV）をはじめとする新たな視聴形態における来店効果の可視化が重要な課題となっています。

こうした状況に対応するため、当社が持つ豊富なデジタル広告の運用実績と、ブログウォッチャーの位置情報データに関する専門性を掛け合わせ、媒体横断型の高度な来店効果分析を可能にするソリューション「OmniVisit」を開発しました。

「OmniVisit」は、電通デジタルが保有する第三者計測プラットフォームとブログウォッチャーが保有する膨大な位置情報データベースを統合した、ワンストップ型の来店効果分析ソリューションです。ウェブサイト、SNS、音声メディアといった媒体別の接触や、PC、スマートフォン、タブレット、CTVといったデバイス別の接触など、これまで分断されていた広告接触データを一元管理し、同一指標での客観的な評価を可能にします。これにより、来店効率の高いチャネルや訴求の特定を通じて、クライアントのROAS最大化を支援します。

<OmniVisit™の概要図>



■ 「OmniVisit」の主な特長

1. 膨大な位置情報データベースによる精緻な来店判定

ブログウォッチャーが保有する140種類以上の連携アプリを通じ、位置情報の利用を許諾したユーザーのみで構成される最大1億MAU（月間アクティブユーザー数）規模のデータ（2026年5月時点）を基盤として活用します。大規模かつユーザーの許諾を得たデータの活用により、高い精度での来店判定を実現します。

2. 媒体横断での一元管理による統合的な広告効果の可視化

各媒体の広告接触データを電通デジタルのセキュアな計測環境下で一元管理し、同一指標による比較評価を可能にします。これにより、媒体ごとの来店効果を客観的に把握し、最適な予算配分に活用します。

3. 高度なリフト計測と補正ロジック

位置情報データを活用し、広告による純粋な来店リフト効果を算出します。また、独自の補正ロジックにより、外部要因を除いた正確な広告効果の把握が可能です。

4. CTVおよび多様なデバイスへの対応

スマートフォンやPCだけでなく、これまで効果測定が難しかったCTVにおけるリーチ計測にも対応しており、次世代の広告チャネルにおける来店効果を可視化し、メディアプランニングの高度化を実現します。

今後も電通デジタルは、生活者の変化を捉えた高度なデータ活用や広告運用に関する知見を最新テクノロジーと融合させ、クライアントの効果的なマーケティング活動と事業成長に貢献してまいります。

※：「OmniVisit™」は当社にて商標出願中です。

以 上

<電通デジタルについて> <https://www.dentsudigital.co.jp/>

電通デジタルは、国内最大規模の総合デジタルファームです。「人の心を動かし、価値を創造し、世界のあり方を変える。」をパーパスに、生活者に寄り添うクリエイティビティとテクノロジーを統合的に活用することで、あらゆるトランスフォーメーションを実現しています。クライアントの事業成長パートナーとして、共に新たな価値を創造することで、経済そして社会の「変革と成長」を目指しています。

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル コーポレートコミュニケーション部

北川・中村 Email : press@dentsudigital.co.jp

【本事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル パフォーマンスマネジメント部門

富田・池田・小橋・大山 Email : dd_mc_pf_adverification@group.dentsu.co.jp